

病害虫防除技術情報第11号

令和5年9月27日
三重県病害虫防除所

ハスモンヨトウの発生量が急増しています。

- 1 対象作物：アブラナ科野菜、イチゴ、ネギ
- 2 対象病害虫名：ハスモンヨトウ
- 3 発生状況と今後の予測
 - 1) 県予察圃（松阪市嬉野川北町）におけるフェロモントラップ誘殺数（8月第6半旬～9月第5半旬）は2,189頭（平年1,606.5頭）と多い状況です（図1）。
 - 2) イチゴの巡回調査圃場（9月第1～2週）では、寄生株率は0.5%でしたが（平年0.5%）、白変葉を含め被害葉が複数個所で確認されました（写真1）。
 - 3) 1か月予報（9月21日・名古屋地方気象台発表）によると、向こう1か月の気温は高く、ハスモンヨトウの発生に好適条件が続くと考えられます。

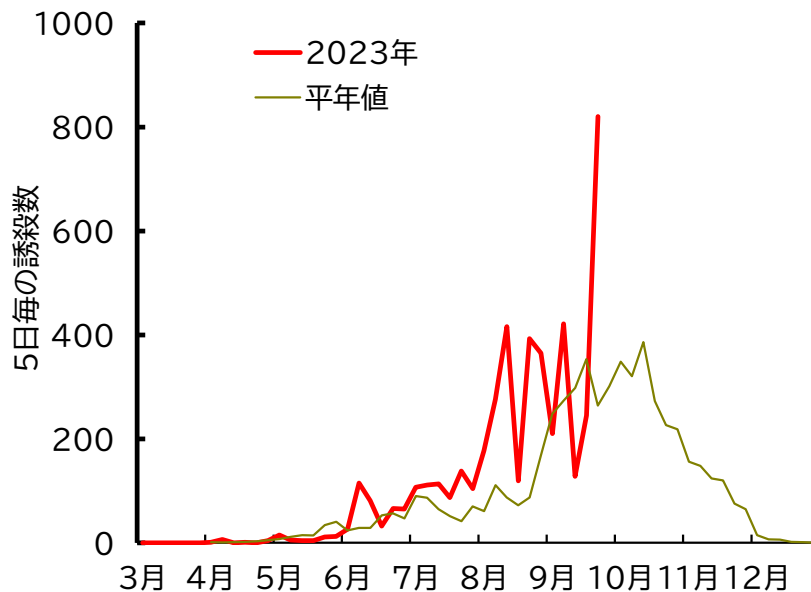


図1 フェロモントラップによる

ハスモンヨトウ雄成虫の誘殺消長



写真 1 イチゴ白変葉



写真 2 ハスモンヨトウ卵塊



写真 3 ハスモンヨトウ若齢幼虫

4 防除対策

- 1) こまめには場を見回り、薄茶色の毛で覆われた卵塊や白変葉を目印にして若齢幼虫が分散する前に捕殺してください（写真1～3）。
- 2) 幼虫が大きくなると薬剤の効果が低下するので若齢のうちに防除してください。
- 3) 薬剤抵抗性回避のため、異なる作用機構の薬剤をローテーション散布してください。
- 4) ハスモンヨトウのフェロモントラップ誘殺状況は、以下の野菜の病害虫のページにて随時更新しています。
(<https://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39619007432.htm>)
- 5) 防除薬剤は三重県農薬情報システムで検索することができます。
(<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>)

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。